

2022 国際教養科 NEWS 12 月

新規 ALT との交流 (8/30)

国際教養科 1 年生の生徒が、長野県庁で実施された新規 ALT の先生方との交流会に参加しました。プレゼンテーションなどを通して日本の文化について紹介をしました。普段の英語学習の成果を実際にアウトプットする貴重な機会となりました。



英語合宿 (9/17-18, 23-24)

国際教養科 1 年 41 名、2 年 35 名、普通科 1 年 4 名、計 80 名が参加して、アゼイリア飯綱において英語合宿が行われました。この 1 泊 2 日のスケジュールは、英語で全 12 時間に及ぶ授業やアクティビティーを行う大変ハードなものでしたが、皆積極的に英語を使って精一杯努力していました。講師は、日本外国語専門学校の 2 名のイギリス人の先生（Warren Crundall さん、Graham Ball さん）にお願いし、非常に熱心にご指導いただきました。

2学年とも前半にコミュニケーションスキルを学びました。その上で、1年生はSDGsをテーマとしたポスター・プレゼンテーション、2年生はミニドラマに挑戦しました。特にミニドラマは初めての試みで、海外生活をテーマとした自作の劇を各グループが発表しました。2日間英語漬けになった生徒たちは、英語を聞く力、話す力が向上し、効果的なコミュニケーションの仕方でも学ぶことができました。この合宿を通して、英語力が向上したのはもちろんのこと、仲間と触れ合いながら、英語で表現することの楽しさを共有できたこと、そしてお互いの絆を深められたことも大きな収穫だったと思います。

<1日目スケジュール>

9:30 開講式 9:50~12:00 English Communication Skills 13:00~18:00 英語活動

<2日目スケジュール>

9:00~12:00 ポスター・プレゼン/ミニドラマ発表準備 13:00~14:30 発表会 終了後閉講式



善光寺ガイド研修（10/18）

10月18日（火）に、国際教養科1年生を対象として善光寺ガイド研修を実施しました。講師として増尾はる子さん、中島信子さん（長野市在住 全国通訳案内士）をお招きし、善光寺の英語ガイドの現地研修を行いました。生徒たちは、実際に自分たちでガイドをする時のことをイメージしながら熱心に取り組んでいました。感想からは、毎日のように目にする善光寺について新たな発見があったこと、また自分たちの文化に対する捉え方が変わったこと等が窺えます。

生徒の感想より

- ・毎朝通っている善光寺だが知らなかったことがとても多く驚いた。あらゆる場所に歴史がちりばめられていると感じたので、次に通るときにはもっと興味を持ってみたいと思う。
- ・日本の文化を英語で伝えていくことができる人を絶やしてはいけないと感じたし、一人でも多くの人が文化に心を惹かれる体験をできたらいいなと思った。日本の魅力を伝えるというのは、素晴らしい仕事だと思った。

異文化理解特別授業(10/28)

今年度第1回目の高大連携授業が、国際教養科1年生を対象として行われました。信州大学教育学部の小池浩子先生と学生の皆さんにオンラインで「異文化理解」の授業を実施して頂きました。4人～5人ずつのグループに分かれ、その中から2名ずつがロールプレイを行います。それぞれが、どのような立場であるかの説明を読んだうえで話し合いをしました。人によって立場や状況、考えていることが違う中で、どのようにすればお互いにとってより良い結果を導けるか、悩みながら取り組んでいました。

＜生徒の感想より＞

- ・相手の意見を尊重しながら、折り合いをつけていくのが大切だと感じた。
- ・相手から予想外の意見がとんできて、冷静に受け止めて話を進めていくことが大切だと思った。
- ・相手の立場を理解することは簡単ではないし、普段できているかは自分ではわからないので、良い機会だった。



ワールドフェスタ(11/3)

11月3日(木)に長野市のセントラルスクウェアにて行われた「ワールドフェスタ in 長野 2022」において、国際教養科1年生がブースを出展しました。「クイズで世界を知ろう」というタイトルで、クイズを通して来場者の皆さんに国際理解を深めてもらえるような内容でした。英語・日本語両方で外部の方々とコミュニケーションをとれる、貴重な機会となりました。

以下は、ブースの説明文です。「色々な視点から世界を知れるかも！？日本と世界の国々のステキでオモシロイところをクイズでご紹介します♪小さな子から大人まで、どなたもクイズを楽しみながら世界を知りましょう！」

